

# えほんのおへや通信



2014年4月1日(火)発行 サンガこども園

三寒四温、肌寒い日があったり、温かい日があったりです。これからは桜一色の季節となります。

**サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」4月号の紹介。**

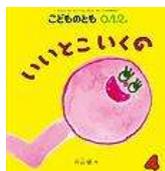
## こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

### 「いいとこいくの」

片山健 作

ボールや椅子、ラッパやおもちゃ箱が「いいとこいくの」と、駆けていきます。みんなどこに行くのでしょうか？ やってきたのは、はーるちゃんのところでした！



## こどものとも 年少版

2～4歳向き

### 「こぶたのプーちゃん」

本田いづみ 文 / さとうあや 絵

こぶたのプーちゃんは、ぬかるみに飛び込んで「どろんこおぼけだぞー」、干し草の山に飛び込んで「もじゃもじゃおぼけだぞー」と駆けていきます。それを見た動物たちはびっくり！ でも、お母さんは・・・。



## こどものとも 年中向き

4～5歳向き

### 「ひもが いっぱん」

安江リエ 文 / 及川賢治 絵

地面にいろいろなひもが一本ずつ落ちています。そのひもを見つけた動物たちが、電車にしたり、はしごにしたり。大きな木を見ると、みんなで「ぶらんこにしよう」と思いつきます。



## こどものとも

5～6歳向き

### 「カレーライスと まねきねこ」

荻田澄子 文 / 飯野まき 絵

みきちゃんは、頭が痛くて寝ているお母さんにかわって、晩ごはんをつくらうとはりきります。すると、「なにを、つくろうかな・・・」とつぶやくみきちゃんの前に、三毛猫が現れました。三毛猫の正体は？



## ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

### 「おなかを みせて！」

島津和子 作

テントウムシ、ダンゴムシ、カエル、ザリガニ、カ……身近にいるいろんな生きものの“おなか”を見てみよう！ 表と裏でこんなに違うんだと、きっとびっくりします。“おなか”は生きものにとって大切なところ。



## 他にこんな絵本も購入しました。

### 「そとごはん」

ウケンバリー、ヘレン【作・絵】 / 谷川 俊太郎 【訳】

3歳から

### そとごはん



著者 ヘレン・ウケンバリー  
訳者 谷川俊太郎

岩崎書店

「つかれたー、ごはんつくれないー」母がぐったりしていたので、みんなでレストランに行きました。ところが、レストランでは…。

### 【雑感】

サンガこども園では絵本を貸し出しています。一人一回一冊で、翌登園日に返却が原則です。ご家庭で一緒にお読みください。

お子さんは、はじめは絵本を見せてもページを順番に読ませてもらえないかもしれません。一つの場面だけ見て本を閉じたり、時にはなめなり、かじったりすることもあります。それが当たり前の反応なのです。そんなお子さんの反応につきあいながら何度も何度も読んであげると絵本に慣れていきます。お子さんのペースに合わせゆっくりゆっくり読んであげてください。



※年齢は目安です。